

令和6年度第1回盛岡地域福祉センター 地域密着型通所介護事業運営推進会議報告書

1 日時

令和6年9月24日（火）午後2時～2時30分

2 場所

盛岡地域福祉センター 会議室
盛岡市手代森14地割16番地89

3 出席構成員

(1) 利用者

A

(2) 利用者の家族

B

(3) 地域住民の代表

ア C（手代森ニュータウン）

イ D（手代森ニュータウン）

(4) 地域密着型通所介護事業について知見を有する者

E（居宅介護支援事業所 介護支援専門員）

(5) 盛岡市の職員又はセンターが所在する地域を管轄する地域包括支援センターの職員

F（盛岡市保健福祉部介護保険課）

(6) センターの管理者及び従業者

ア G（管理者 所長）

イ H（従業者 副所長）

ウ I（従業者 生活相談員）

エ J（従業者 生活支援員）

(7) その他センターの管理者が必要と認めた者

なし

4 欠席者

なし

5 内容

(1) 開会

(2) 構成員紹介

(3) 所長あいさつ

皆さん、本日は、お忙しい中、当センターの令和6年度第1回運営推進会議にご出席を賜

り誠にありがとうございます。

この4月に所長として参りました、Gと申します。3月まで、前九年にあります、児童発達支援センター盛岡ひまわり学園という就学前のお子さんの施設におりました。高齢者施設は、太田にあります盛岡市立けやき荘という軽費老人ホームで2年間生活相談員として勤務した経験があり、本日、ご出席いただいています、Eさんの〇〇事業所にも大変お世話になりました。

本日、お手元にお配りしましたが、お陰様で、当センターは、今年創立30周年を迎えております。平成6年4月1日、盛岡市が設立し社会福祉法人盛岡市社会福祉事業団が管理運営を受託する「盛岡市立地域福祉センター」として、事業を開始しましたが、令和3年4月1日には、盛岡市から建物が移譲され、名称を「盛岡地域福祉センター」に変更しています。

地域福祉センターという名称は、聞きなれないかもしれません。盛岡市では、ここ盛岡地域福祉センターの1施設のみです。岩手県内では、花巻市と洋野町にそれぞれ1施設あり、県内では3施設となっています。

当センターの特徴と申しますと、創立当初から高齢者の皆様、障がい者の皆様のデイサービス事業と、地域の皆様の活動に広く利用されているところです。また、平成14年4月からは、就学前の子どもと保護者の皆様を対象とした盛岡ひまわり学園親子通園事業（通称わらしっこ教室）の都南教室も活動を行っています。

以前は、障がい者の皆様は65歳になると、介護保険の施設に移らなければなりませんでしたが、65歳になっても使い慣れた施設を継続利用できるようになったのが、平成30年に設けられた「共生型サービス」という制度ですが、当センターは、それよりずっと前の平成6年の創立時から、65歳になっても引き続きご利用いただける施設として、それぞれの基準を満たして運営して参りました。

これからも障がいがある、ないにかかわらず、女の人も男の人も、お年寄りも若い人も、すべての人がお互いを大切に、支え合い、生き生きとした人生を送ることができるように支援して参ります。

本日は、地域密着型通所介護について、皆様の忌憚のないご意見を賜ればと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

(4) 協議

活動報告について

- ア 利用状況
- イ 要介護別認定区分
- ウ 活動報告
- エ 苦情受付
- オ 事故その他報告すべき事項

(5) 質疑応答

ア C構成員：土曜日は平日と同じ時間で営業しているのか。

センター：デイ部門は年末年始・日曜日以外、平日と同じ時間帯で営業している。貸館は予約制で8時30分から21時まで利用可能である。

イ B構成員：活動報告の5、事故その他報告すべきインシデントの(1)(2)は同じ車両か。

センター：別の車両である。(2)で車椅子ロックがはずれた箇所は、修理が完了するまで使用せず運行し現在は修理が完了している。

ウ E 構成員：移動販売やいろいろな行事に合わせて体験利用は可能か。トイレのドアの故障中はどのように対応したのか。買い物ドライブは社会性が広がってとても良いことである。移動販売に合わせての利用は可能か。

センター：以前も移動販売に合わせて利用された方がおり、体験利用も可能である。トイレドアの故障中はカーテンを取り付けて対応した。ドアは施設譲渡の際に盛岡市が取り付けした吊り下げ式の重い構造であったことから、盛岡市と連絡を取り合いながら進めたため時間を要した。

エ D 構成員：地域福祉センターの移動販売日を教えてもらっており、一人暮らしの方もいらっしゃるの、移動販売は喜ばれている。「買い物がてら、センターに初めて入った」と言っている人がいたが、身近な施設になってきている。パジャマ姿で道路を歩いている人に、センター職員が声をかけてくれて助かった。地域に目を向けてもらって助かる。介護についてのヒヤリハットがないが、介護力が充実してきたのではないか。

センター：3月末で職員1人が退職していたが8月に充足された。中間浴も導入され支援の厚みが増したと感じる。

オ F 構成員：センターの外に出て活動することは社会性を広めて、良いことだと思う。令和6年度の利用率はどうか。

センター：最近では令和4年度の利用率が高く64.0%、1日あたりの利用者数9.6人であった。令和5年度は利用率56.3%、利用者数8.4人と減ったが、今年度は更に減っている状況である。ケアマネージャーに問い合わせるなど利用率を上げるよう努力していく。

(6) その他

本日はお忙しいところご出席いただきありがとうございました。また、貴重なご意見をありがとうございました。会議の内容は、個人が特定されないような形で公表させていただきますのでご了承願います。次回は令和7年2月を予定していますので、どうぞよろしく願いいたします。

(7) 閉会